

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス きらり庵		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子どもたちの様子や状況を保護者と伝えあい、健康や発達の状態について共有理解ができています。	発達診断表を情報の材料としてヒントにしなが、子どもたちの日々の様子や成長を支援者間で毎日すり合わせしながら共有認識のもとに支援にあたっている。全員が同じ視点や理解を深めているからこそ、利用時に保護者と子どもたちの成長の喜びや悩み、葛藤にも寄り添いともに考えていく姿勢を大事にしてきたからこそ、強みに繋がっていると考える。	日々の送迎時以外でのやりとり以外にも、個別に面談を行ったり、保護者が参加型の取り組みを企画するなど、信頼関係の構築をより深めていきたい。
2	子どもの特性に応じた専門性のある支援ができています。	毎月の支援会議、職員会議、パート会議を積み重ね、職員集団の知識や技術力、支援の質の向上を目指し、チーム力の構築も図れるように取り組んできた。	毎月の会議は継続しながら、学ぶ姿勢をいつまでも謙虚に取り組み、チーム力をより深められるように日々のコミュニケーションや劣いの場合引き続き大切にしていきたい。
3	活動プログラムの工夫	子どもたちの「～したい」という思いや願いを汲みとり、活動に反映させて実現に繋げている。	「～したい」という幅を増やせるように、失敗も成功もいろいろな経験を安心できる友だちや大人とともに体験することを引き続き大切にしてい。積み重ねていくことで「やってみよう」という期待感や自分の得意なこと、好きなことに繋がるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ・事業所から地域への発信力 ・地域という意識と視点の低さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所から地域へ発信できるようなイベントの企画(大きなイベントだけでなく、気軽に交流できるような取り組みも) ・日々のコミュニケーション、地域活動(清掃など)にも積極的に参加し、関係を構築していくことから始める
2	非常災害の避難やマニュアルの周知	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の内容の工夫と訓練後の報告の仕方 ・マニュアルの見直しと周知、説明 	避難訓練は年2回行っているが、事業所敷地内で完結してしまっているため、近くの公民館に避難するなど訓練内容の検討が必要。また事後の報告を広報誌にて掲載していたが、伝わりづらい様子もあるため、マニュアルと一緒に報告・説明するなどして工夫していく。
3	保護者会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の内容の工夫 ・保護者同士のつながりを頼りに参加の促しを ・気軽に参加しやすい雰囲気 	年1回保護者会を計画しているが、参加者は固定化されてきている。保護者のニーズに合わせた内容の検討を再度行い、事業所と保護者の信頼関係や絆が深まるような時間を創り上げていきたい。